

「運気を上げる7つの方法」

1. カンタンな事の実践

今年も残すところ2週間となりました。今年も毎週AMIニュースを発信する事が出来て500号を超えて、今号は518号です。いろんなテーマで記事を書いて来ましたが、「運気」という物を考えて見ました。右掲はネットで「運気を上げる」をキーワードにして検索して出た中から選んだ物です。シンプルな事柄を取り上げているので、その気になれば実践できるものばかりです。

その中でも、①と②は自分が行なう物で、③～⑦は「他力本願」的な要素です。私は、③～⑦は日常性のない物で、時々ま行うような物と考えており、どちらかと言うと①と②が大切と考えます。しかし、実は、①の「窓を開ける」は、毎朝、実践していますが、②の「掃除」は、どちらかと言うとダラしない方です。

しかし、「5S」(整理、整頓、清掃、清潔、躰け)と言いますが、本当に基本的な事柄なのですが、毎日となると、なかなか、実行できないのです。「後でまとめて」という気持ちが働くのです。最近、三男と2人なので「他人の緊張感」がないので、どうしても気が緩んでしまい、「後で」が積み重なってテーブルの上なども外部から来た郵便物で不要な物が溜まってしまうのです。「整理、整頓」の基準は、都度実施なのですが、気が緩むと不要な物が溜まってしまい、大掃除などで片づけることになるのです。この「5S」は基本行動として風土化している組織は自ずからパワーがあるので、「運気」を上げる基本と言えるので自分自身も実践しなければならないものです。

運気を上げる7つの方法

- ①窓を開ける
- ②掃除をする
- ③パワースポットに行く
- ④吉方位のパワーを吸収する
- ⑤新しいものをおろす
- ⑥イメージチェンジをする
- ⑦言霊の力を借りる

<https://spiritualism-japan.com/unkiup7/>

2. 気分転換で「運気」をアップ

③～⑥は、ある意味、気分転換に関するものです。③はパワースポットに行くという事では、私は、氏神様にお参りするようにしています。4年前に始めたダイエットで30分ウォーキングで150Kcal消費という事で30分2.5kmのコースを作ったうちの一つです。氏神様に何をお祈りするという訳ではなく、健康でお参りできる感謝で10円のお賽銭をしています。まあ、10円ダイエットと言えます。④吉方位のパワーを吸収するは、風水で事務所に飾る絵画の配置を決めています。風水で配置する前に比べると確かに人との出会いも多く、運気が上がった感じがしています。

⑤の新しい物をおろすは気分転換にはなるかも知れませんが、場合によってはムダ使いになってしまいます。衣服でも機械でも新品は独特の雰囲気や香りがある、「さあ、頑張るぞ！」という気持ちにしてくれますが、よく考えて行わないと「お金」が出てばかりになりかねません。私は、少々高くても良い物を買って長く使う方が良いと思っています。確かに、自動車の場合、5年毎に乗り換えていた時もあったのですが、最近は長く乗るようになって大きなお金が動くことがなくなり資金的な余裕が生まれています。

⑥のイメージチェンジするという事ですが、女性は髪型を変えて気分転換されています。確かに、髪型の変え方によっては印象が変わり好感度を持つ男性が変わる可能性があります。しかし、夫婦間の場合、見慣れた髪型を少し位変えたところで、夫との関係性では大きく変わらないので気づかないのです。こんな事で自分を見ていないと言われるのも辛いものがあります。また、女性はイメージチェンジが好きのように思います。家のリフォームも言いだすのは女性からの方が多くのように思います。私はマンション住まいですが、亡き妻は壁紙や畳の張り替えやカーテンの色を変えたり、さらには、家具の配置を変えたりして気分転換を図っていました。こんなイメージチェンジが好きなのでリフォーム業界が栄えるのかと思います。

3. 言霊の威力

運気を上げる7つの方法の最後は、⑦言霊の力を借りるとあります。右掲は「明元素言葉」と「暗病反言葉」です。「言霊」は霊を魂と書く場合もありますが、言葉がもつ本質的な魂があるという物です。「しんどい」という言葉がありますが、ある方が「しんどいは神様が遠のくと書く」とおっしゃった事がありますが、確かに、疲れた時などは他人の共感を呼びやすいのですが、これでは、もう少しという踏ん張りにつながらないケースも出るので「神様が遠のく」となるのです。



忙しいも同じで「卍」は「心」を意味しており、「心を亡くす」となるのです。だから、多くの方は「忙しい」と音を上げる社員を嫌うのです。確かに、多忙で夢中になっていると「心」を失くしている状態なのですが、そんな時には楽しくてα波が充満した状態なので元気一杯な状態なのです。従って、「忙しい」という人は仕事を楽しんでいない証拠なのです。お客様でも若い社員が夜遅くまで頑張っておられますが、労うと「忙しい」とも言わないで、やっている仕事の達成感に浸っておられるのです。

また、「ありがとう」という言葉があります。私は、営業の方にお客様と話す時に何回位「ありがとう」って言っているかと聞くようにしています。実は、成績のよい人程「ありがとう」という回数が多いのです。この「ありがとう」は相手を受け入れるパワーがあるので引き寄せられるのです。社長さんでも「ありがとう」って素直に発せられる方は、社員との距離感が近いのです。「求心力」という言葉がありますが、部下の心を引きつけるのは「自分を認める」という意味合いで「ありがとう」の感謝の言葉が大きな威力を持つのです。心がけたいものです。

4. 「運・鈍・根」

運気を開いても成功するとは限らないのです。もう少し粘れば上手く展開するという事が多いのです。営業の世界でも研究開発の世界でも「あきらめた時が失敗」という格言があるように、成功を信じて只管頑張る人が目標に到達できるのです。この喩えに「運・鈍・根」という格言があります。これは、「あれやこれやと考えて、頭でっかちになるより、運気を高め、目標、目的に向かって愚直にねばり強くやるのが、成功の秘訣」という事を指しており、「鈍」すなわち「鈍感」になって雑音や邪念に惑わされない事が大切なのです。

ところが、多くの方は邪念が働き、あれこれと考えて迷いに入ってしまうのです。殆どの事柄は考え過ぎると迷いが生じて動けなくなるのです。「こんな場合は、どうしよう・・・」とか「こうなったら、どうしよう・・・」などと事前にシミュレーションするのは良い事なのですが、どうしてもネガティブなケースばかりを考え込んでしまうのです。こんな風では、何もしない方がよいという判断になってしまうのです。確かに「何もしない」という選択肢はあるのですが、それでは「ツキの神様」が逃げてしまうのです。

「直感力」と言いますが、パッと閃いた事を信じて動く方が成功する確率が高くなるのです。「直感」と言うのは自分の体内にある経験(DNAを含む)から出るのです。経験のない事は思いつかないのです。直感の背景には、類似の経験を含めて経験すなわちDNAが反応しているのです。確かに、軽はずみなことは避けねばなりません、が、「いける！」という直感を信じて、只管、「運・鈍・根」で頑張り切る方が良い結果に結び付き易いのです。少々の失敗は乗り越えるべき「壁」なので、逆転の発想でチャンス到来と「壁」突破に努力する事が大切なのです。